

飯田泰之さんと深める 【マネーの歴史と未来】



講師

明治大学政治経済学部准教授

飯田 泰之

Yasuyuki Iida

歴史を読み解き、これからの貨幣と経済に思いをはせよう

貨幣(マネー)抜きで現代の経済活動は存在し得ない。経済における貨幣の普遍性は、ともすると、私たちの貨幣理解の大きな障害となる。当たり前の存在であるが故に、貨幣とは何なのかという思考が困難になってしまうのだ。今日の各国金融政策の変容、キャッシュレス社会の進展、さらには仮想通貨の登場は「新たな貨幣」の到来を予想させる。

本講座では日本の歴史を通して貨幣が無い社会、また、ある貨幣が貨幣でなくなる状況を確認することで、逆説的にこれからの貨幣のあり方を考えていきたい。

飯田泰之

10/4金

18:30-21:30

貨幣はなぜ貨幣なのか 1

貨幣とは何か——経済活動の根幹に関わる問題について整理を行う。古典的な商品説と法制説の比較、構造主義的な理解から現代金融理論(MMT)の貨幣観を概観すると、歴史上存在した貨幣の価値を支えたものが見えてくる。これから生まれる「新たな貨幣」が依拠しうる論理はどこにあるのだろうか。本講座に通底する貨幣理解への出発点を提供したい。

11/15金

18:30-21:30

江戸の貨幣政策と日本人の貨幣観 4

江戸期の貨幣改鋳政策は金融政策であり財政政策であった。その歴史を概観するとともに、新井白石と荻生徂徠の経済論に注目する。元禄改鋳への痛烈な批判を行った白石の経済観、元文改鋳の理論的支柱となった荻生徂徠の経済論には現代の日本人にも受け継がれる経済観が見て取れる。日本人にとって経済活動とは何なのだろうか。ともに考えを巡らそう。

10/18金

18:30-21:30

古代の商品経済と貨幣経済 2

日本における広義の貨幣は7世紀の無文銀銭にはじまる。一定重量に整えられた銀である無文銀銭はいかにして和同開珎、皇朝十二銭に置き換えられていったのだろうか。さらに、稲や布などの商品貨幣は物々交換の発展系とってよいのだろうか。国家権力と貨幣の関係に注目することで、貨幣が貨幣となるために上る梯子について考えていこう。

11/29金

18:30-21:30

世界経済の中の日本 5

明治維新を経て、近代国家の建設を急いだ日本にとって、国際的な通貨秩序への参加は焦眉の問題であった。しかし、その基本システムである金本位制は、経済にとって大きな足かせにもなり得る。この両側面がぶつかった昭和恐慌期の経済論戦を通じて、現代にまで続く日本人にとっての「正しい経済」に思いをはせ、その「正しい経済」がもたらす経済政策の貧困について論じたい。

11/1金

18:30-21:30

非貨幣経済の可能性 3

中世の取引にはいくつか特徴がある。ひとつは複雑な贈与・返礼関係が商品・サービスの交換機能を果たしたこと、また金属としての価値も政府による保証もない銭が貨幣として流通したこと、そして信用経済の萌芽が見られたことなどが上げられる。これらの取引慣習から出発して、法律上の通貨以外を用いた取引、評価経済の可能性について議論していくこととしたい。

12/13金

18:30-21:30

未来の貨幣を考える 6

商品価値、国家(税制)による保証、信用の連鎖——歴史上の貨幣はさまざまな要素をその根拠として成り立ってきた。これから登場する新たな貨幣はいずれに根拠をもって貨幣への梯子を登っていくのだろうか。もしくは、これまでに経験されたことのない論理にしたがって未来の貨幣が生まれる可能性はないのだろうか。貨幣と経済の未来に思いをはせていきたい。

貨幣成立の通説を疑う

貨幣はどのようにして貨幣となったのだろうか。物々交換が発展し、持ち運びや交換に便利な貨幣となった説や金本位制によって成立したと聞いたことがある人は多いだろう。だが、それは果たして正しいのだろうか。歴史を貨幣という観点から読み解くことで、今までの常識を疑い、貨幣と経済の未来について考えを深めるきっかけとしよう。

開 催 概 要

日 程	2019年 10/4、10/18、11/1、11/15、11/29、12/13 (すべて金曜日)
回 数	6回
時 間	18:30-21:30 (3時間)
定 員	25名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	110,000円 (消費税10%込)
おすすめしたい方	◎貨幣の成り立ちや変遷、今後どのように変化していくかに興味のある方 ◎日本の歴史を貨幣という観点で読み解きたい方

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

飯田 泰之 (いいだ やすゆき)

1975年生まれ、東京大学経済学部卒業、同大学大学院博士課程単位取得後、駒澤大学准教授を経て、2013年より明治大学政治経済学部准教授。この間、内閣府経済社会総合研究所客員教授研究員、財務省財務総合政策研究所客員研究員を務める。現在、内閣府規制改革推進会議委員として活躍中。

■主な著書

『日本史に学ぶマネーの論理』(PHP研究所)
『経済学講義 (ちくま新書1276)』(筑摩書房)
『マクロ経済学の核心 (光文社新書)』(光文社)
『歴史が教えるマネーの理論』(ダイヤモンド社)

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項に記入の上、FAXにてお送り下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。
本申込書の受領をもってその内容を承諾いただいたものとみなします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>



参加者

講座名	飯田泰之さんと深める【マネーの歴史と未来】 <input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む
会社・団体名	
所属	
フリガナ	
氏名	
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒
TEL	- -
FAX	- -
e-mail	

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度 (個人申込みのみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 下記に他講座名を記入して下さい [_____] <input type="checkbox"/> 継続受講割引 <input type="checkbox"/> 慶應カード割引
--

■割引制度(個人) ※ク学五十講、クロシグは慶應カード割引のみ適用
【複数申込割引】一度に複数の講座へお申し込みされた場合、参加費を最大20%割引いたします。ビジネスプログラムとの組み合わせも対象となります。
◆20%割引:110,000円(消費税10%込)以上のagoraおよび知的基盤能力プログラムを複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引:上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】過去に慶應MCCのプログラム・講座に参加し、終了日より1年以内にお申し込みされた場合、参加費を10%割引いたします。過去に法人で参加された方も、個人で参加される場合は対象となります。
【慶應カード割引】慶應カード会員の方が個人でお支払される場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

割引制度(法人)

agoraおよびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(ク学五十講、クロシグは対象外)
詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階
株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 E-mail:info@keiomcc.com
今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。存じます。ご不要の方は右記にチェックをお願いいたします。

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し込みをされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も参加費の振込みのないことをキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡ください。◆開講28日前まで:キャンセル料は発生しません。
◆開講27日~21日前まで:参加費の30%◆開講20日~14日前まで:参加費の50%◆開講13日前以内:参加費の全額
◆お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。◆当方の都合でプログラムを中止する場合は全額返金いたします。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<https://www.keiomcc.com/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。